



スマートフォンと上手く付き合っていますか

ファブリング (Phubbing) という言葉をご存じですか？スマートフォンやモバイル端末に夢中になり目の前の人とのコミュニケーションを阻害することを表す言葉。アメリカで作られた新語です。手軽に情報を得たり発信したりすることができるスマートフォンなどは、人とのコミュニケーションを補足することができる一方、目の前にいる人との関係づくりを阻害するツールにもなりつつあります。誰かと一緒にいるときにゲームや Instagram(インスタグラム)のアップに夢中になりすぎるのは、大切な人との関係に影響がでてしまう可能性も。ぜひこの機会に使い方を見直してみませんか。

子供たちにもマナーを

どこに行くにも持ち歩き、スマートフォンやゲーム機が手元にあることで、外出本来の目的を見失っていることはありませんか。Apple社の創設者スティーブジョブズ氏が、デバイス中毒を懸念し、自分の子供たちには機器を持たせず使用時間を制限していたのは有名な話です。行き過ぎた使い方を防ぎ上手に活用できるよう、正しい使い方を教育していきたいですね。



TPOを考えて

近頃、日常の連絡にメールやLINE(ライン)を使うことが増えました。手軽さから、何でもそれらで済ませていませんか。

欠勤や遅刻をLINEで連絡、緊急の用件をメールで送信。電話で伝えないといけないこと、直接会って話さないといけないことがあるはず。状況に合わせた手段を選ぶ気遣いが、あなたの印象を左右します。



夢中になりすぎて失うものも

耳にイヤホン。歩きながらの操作……。周りの状況に目もくれず、自分の世界に入り過ぎていませんか。ほんの少しの不注意が取り返しのつかない事故につながりかねません。

操作は安全な場所で立ち止まってから。自分と周りの人の安全に配慮した日常を過ごしましょう。



『ユニバーサルマナー』 ～視覚障害者編～

視覚障害者の方は周囲の状況がわかりづらいため、声が聞こえても、自分に話しかけているかどうかの判断ができません。声をかけるときには、腕や服に軽く手を触れながらするとよいでしょう。自分の名前と所属(病院のスタッフなど)を伝えると、必要なサポートを伝えてもらいやすくなります。移動のサポートをするときは、肩や腕を持ってもらい、周囲の状況を伝えながら、相手の一歩前を歩きます。あいまいな言い方ではなく、具体的な数値を用いて、段差や幅・障害物などの状況を伝えましょう。

何かお手伝いできることはありますか？



ユニバーサルマナー
マーク



SNS始めました！



次回は4月発行予定です お楽しみに♪